

自然災害発生時における業務継続計画

法人名	NPO 法人札幌チャレンジド	種別	就労継続支援 A 型・就労移行定着支援・放課後等デイサービス
代表者	理事長 加納尚明	管理者	加納 尚明
所在地	札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 北苑ビル 2F	電話番号	011-769-0843

目次

1. 総論	1
(1) 基本方針.....	1
(2) 推進体制.....	1
(3) リスクの把握	2
① ハザードマップなどの確認	2
② 被災想定.....	5
(4) 優先業務の選定.....	6
① 優先する事業	6
(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し.....	6
① 研修・訓練の実施	6
② BCPの検証・見直し.....	9
2. 平常時の対応	9
(1) 建物・設備の安全対策.....	9
① 人が常駐する場所の耐震措置.....	9
(2) 電気が止まった場合の対策.....	9
(3) ガスが止まった場合の対策.....	9
(4) 水道が止まった場合の対策.....	9
① 飲料水	9
② 生活用水.....	9
(5) 通信が麻痺した場合の対策.....	9
(6) システムが停止した場合の対策	10
(7) 衛生面（トイレ等）の対策.....	10
① トイレ対策	10
② 汚物対策.....	10
(8) 必要品の備蓄	10
(9) 資金手当て	10
3. 緊急時の対応	11
(1) BCP発動基準.....	11
(2) 行動基準.....	11
(3) 対応体制.....	12
(4) 対応拠点.....	12
(5) 安否確認.....	12
(6) 職員の参集基準.....	13
(7) 重要業務の継続.....	13
(8) 職員の管理(ケア).....	13

① 休憩・宿泊場所.....	13
② 勤務シフト.....	13
（９） 復旧対応.....	14
① 破損個所の確認.....	14
② 業者連絡先一覧の整備.....	14
③ 情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）.....	14
4. 他施設との連携.....	15
（１） 連携体制の構築.....	15
① 連携先との協議.....	15
② 地域のネットワーク等の構築・参画.....	15
5. 地域との連携.....	15
（１） 被災時の職員の派遣.....	15
（２） 福祉避難所の運営.....	15
① 福祉避難所の指定.....	15
6. 通所系・固有事項.....	16
<更新履歴>.....	16

【参考資料 添付】

防災ポケットマニュアル

1. 総論

(1) 基本方針

1. 利用者、従業員とその家族の安否確認、安全確認を最優先する。
2. 事業の継続により、従業員の雇用と利用者へのサービスを確保する。
3. 被災した地域の復旧・復興支援に協力する。
4. 従業員が日頃より危機意識を持ち、非常時の活動に備える風土を作る。

(2) 推進体制

主な役割	部署・役職	氏名	補足
全体統括	理事長	加納 尚明	
全体統括補佐	総務 G	岡野 裕幸	
講習 G 統括	リーダー	飯村 富士雄	
就労 G 統括	リーダー	佐藤 美貴	
移行 G 統括	リーダー	大山 珠美	

(3) リスクの把握

① ハザードマップなどの確認



さっぽろ防災ポータル
札幌市の防災、災害時の情報ポータルサイト

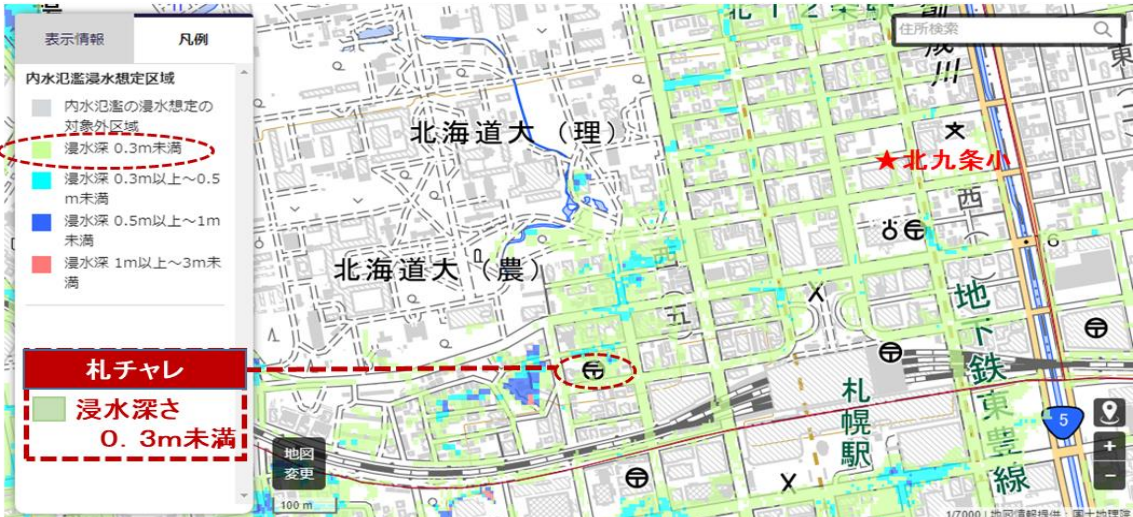
【ハザードマップ】

≪1.洪水≫

1.洪水浸水想定区域 （川が氾濫することで発生する浸水を想定）



2.内水氾濫浸水想定区域 （下水道で雨を排水しきれず発生する浸水を想定）



3.津波浸水想定区域
※該当せず

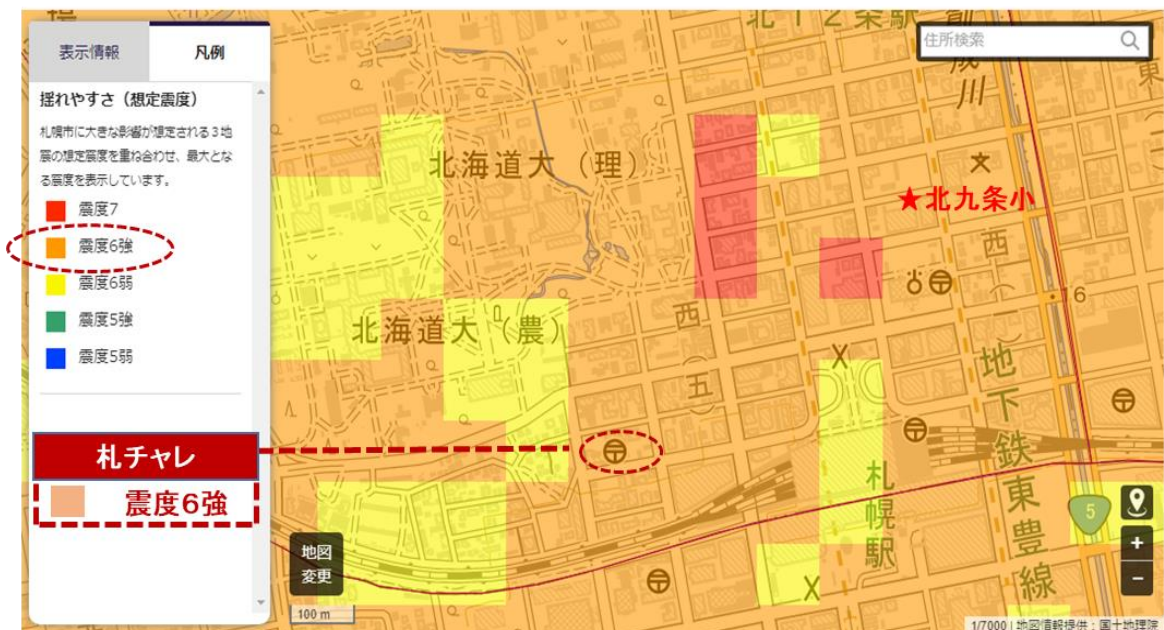
≪2.河川別 洪水浸水想定区域≫

1.豊平川(下流)



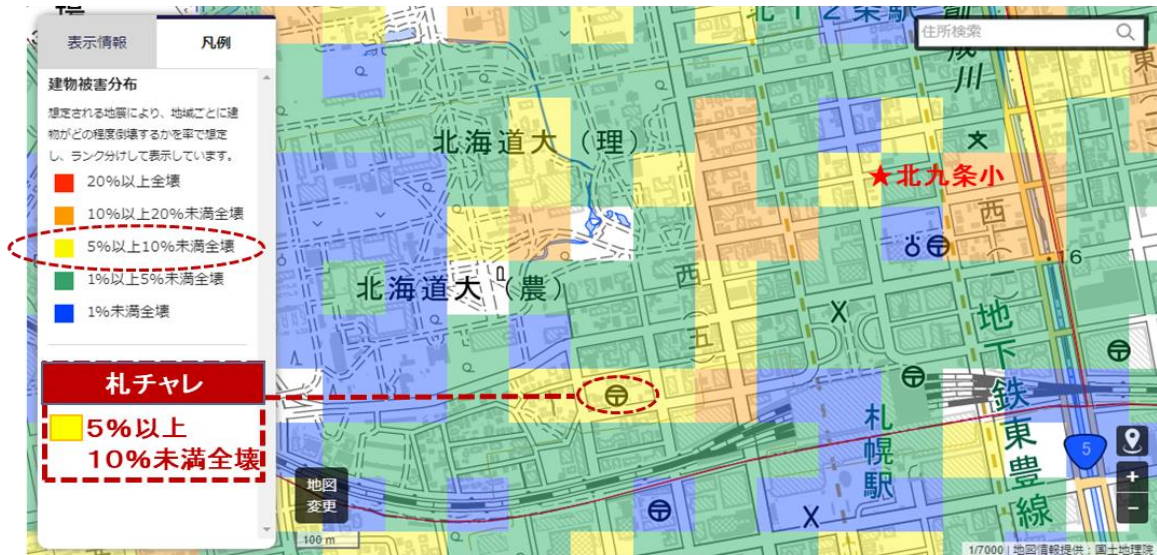
≪3.地震≫

1.揺れやすさ



《3.地震》

2.建物被害分布



3.液状化危険度



《4.土砂災害警戒区域》

土砂災害警戒区域

- 土石流
- 急傾斜地の崩壊
- 地すべり

※該当せず

《5.土砂災害危険箇所》

土砂災害危険箇所

- 土石流
- 急傾斜地の崩壊
- 地すべり

※該当せず

② 被災想定

災害名	表示情報	想定レベル	対応 要否	備考
1. 洪水	①洪水浸水想定区域	0. 5 m未満	×	情報収集
	②内水氾濫浸水 想定区域	浸水深 0. 3 m未満	×	情報収集
	③津波浸水想定区域	※該当せず	×	—
2. 河川 別洪水	①河川別洪水浸水 想定区域	0. 5 m未満	×	豊平川 (下流)
3. 地震	①揺れやすさ	震度6強	○	
	②建物被害分布	5%以上 10%未満全壊	○	
	③液状化危険度	液状化発生の可能性が 極めて低い	×	—
4. 土砂 災害	①土砂災害警戒区域	※該当せず	×	—
	②土砂災害危険箇所	※該当せず	×	—

その他自施設内の災害想定

災害名	表示情報	想定レベル	対応 要 否	備考
1. 火災	①事務所内火災	—	○	
	②ビル内火災	—	○	
	③近隣火災	—	×	情報収集

【自施設で想定される影響】

	当日	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
電力	不通	不通	復旧	→	→	→	→	→	→
E V	停止	停止	復旧	→	→	→	→	→	→
飲料水	備蓄	備蓄	復旧	→	→	→	→	→	→
ガス	停止	停止	復旧	→	→	→	→	→	→
携帯電話	不通	不通	復旧	→	→	→	→	→	→
メール	不通	不通	復旧	→	→	→	→	→	→

(4) 優先業務の選定

① 優先する事業

複数の事業を運営する施設・事業所等では、どの事業（入所、通所、訪問等）を優先するか（どの事業を縮小・休止するか）を法人本部とも連携して決めておく。

＜優先する事業＞

- (1) 就労継続支援A型サービス
- (2) 就労移行支援サービス
- (3) 放課後等デイサービス
- (4) 就労定着支援サービス

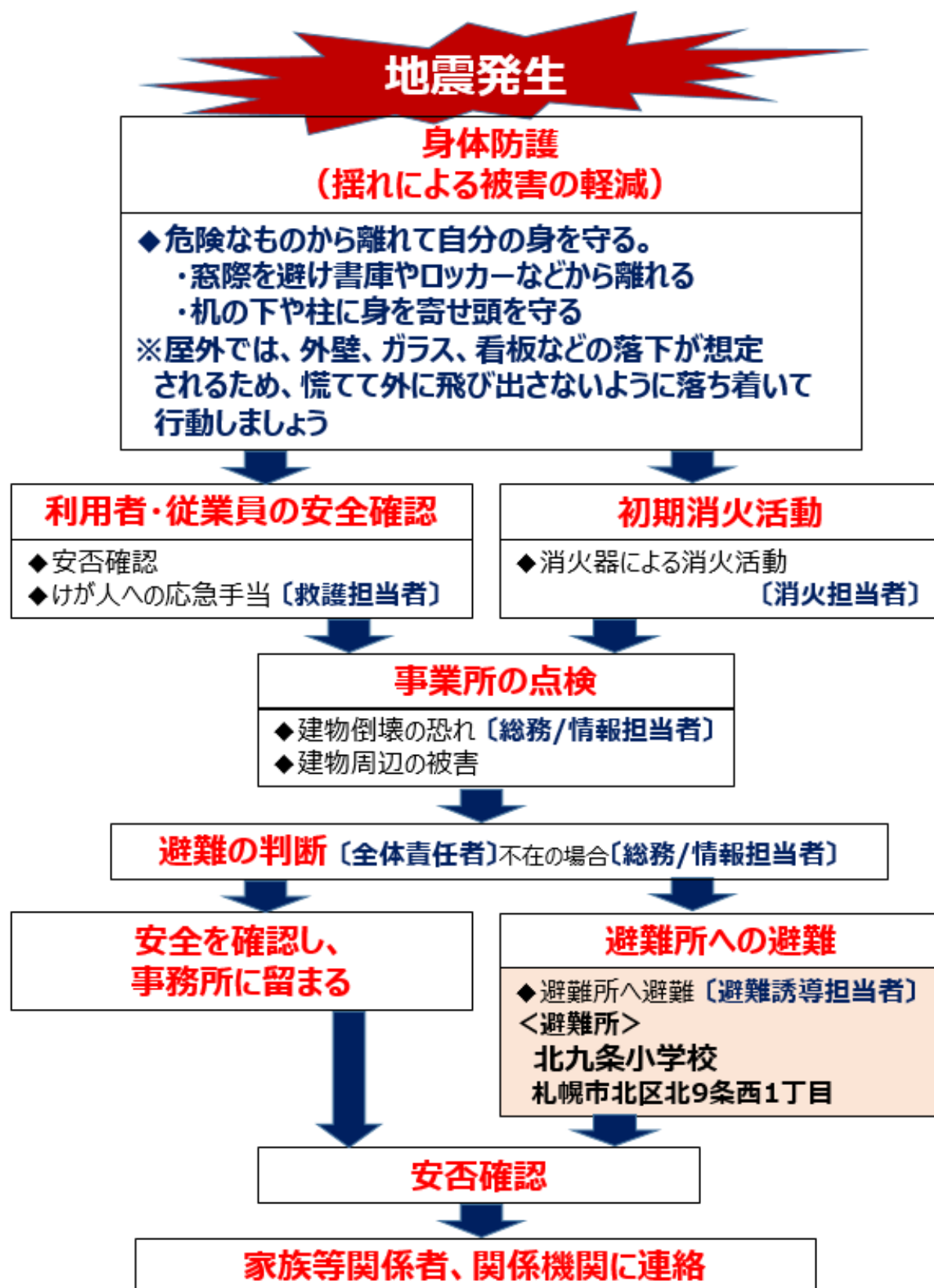
(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

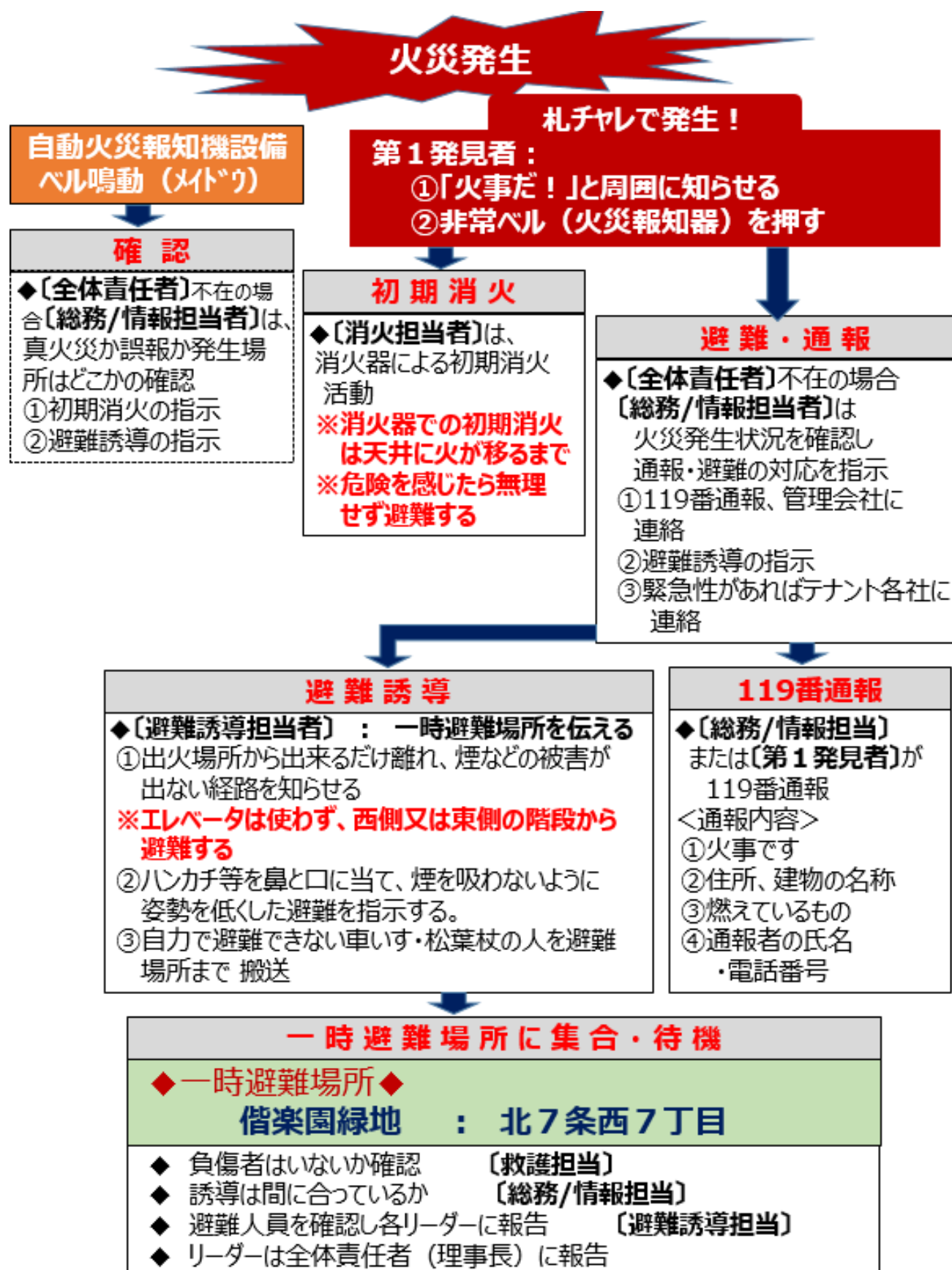
① 研修・訓練の実施

訓練は、年に1回、実施する。

訓練は、業務に支障が無い範囲で、全部署が一斉に実施する。

訓練の概要は、以下のとおり。





② B C P の検証・見直し

年に 1 回、経営会議にて取り組みの評価と改善を議論し、日常的な備えや訓練に反映する。

2. 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

① 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
事務所内	棚への転倒防止突っ張り防の設置	

(2) 電気が止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と自家発電機もしくは代替策を記載する。

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
パソコン	在宅またはコワーキング施設での勤務に切り替える

(3) ガスが止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と代替策を記載する。

稼働させるべき設備	代替策
なし	

(4) 水道が止まった場合の対策

および生活用水の確保を記載する。

① 飲料水

事務所内設置の自動販売機内の飲料水を活用する。

② 生活用水

特になし。

(5) 通信が麻痺した場合の対策

携帯電話を乾電池で充電できる充電器を備える。

伝言ダイヤル 1 7 1 を利用する。

(6) システムが停止した場合の対策

サーバーのデータは、毎日、バックアップしている。
一部、業務では、クラウド内にデータを保存している。

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

① トイレ対策

【利用者・職員】

入居しているビルの対策による。

② 汚物対策

入居しているビルの対策による。

(8) 必要品の備蓄

【飲料・食品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
飲料水	随時	適宜	自動販売機内	総務 G

【医薬品・衛生用品・日用品】

品名	数量	消費期限	保管場所	メンテナンス担当
絆創膏	1 式	なし	救急箱	総務 G
解熱剤	24 錠	2025.01	救急箱	総務 G
救急ガーゼ	1 式	なし	救急箱	総務 G

【備品】

品名	数量	保管場所	メンテナンス担当
単 3 乾電池	20 本	事務所内棚	総務 G
携帯電話充電器	3 個	事務所内棚	総務 G

(9) 資金手当て

日本共済のテナントプラン保険に加入済（損害保険：500 万円、水害保険：500 万円、修理費用保険：100 万円ほか）

3. 緊急時の対応

(1) BCP発動基準

【地震による発動基準】

震度6強以上（基準でも特に対応が必要な場合は、随時、発動する）

【水害による発動基準】

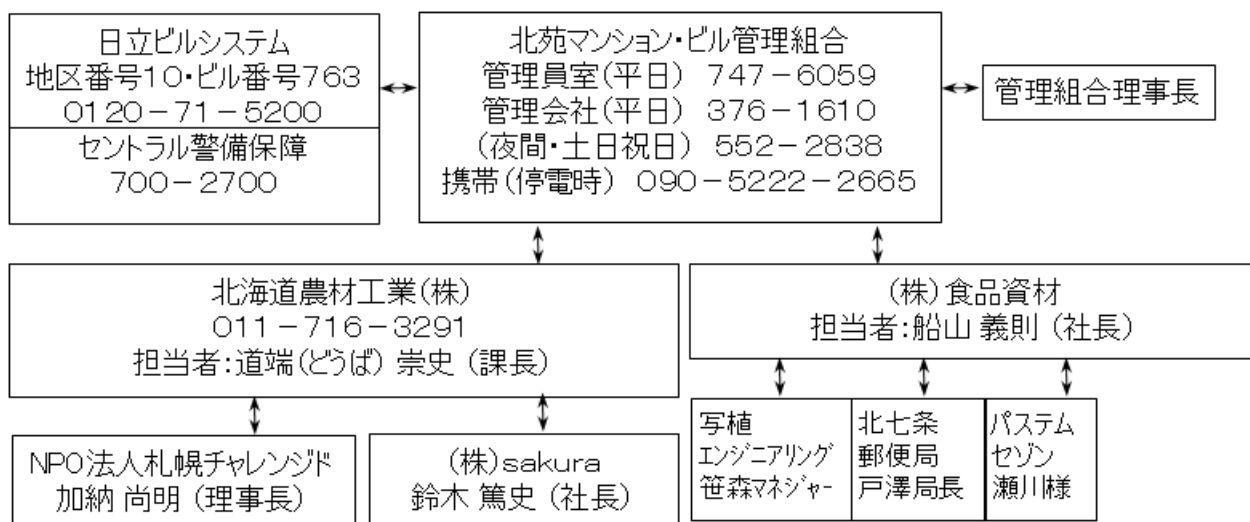
床上浸水時、事務所全体の天井からの極度の雨漏り時

管理者	代替者①	代替者②
加納 尚明	岡野 裕幸	飯村 富士雄

(2) 行動基準

慌てることなく、落ち着いて、マニュアルに基づき、周囲の人と協力して行動すること。

(3) 北苑ビル防災体制



- ①災害時には、管理会社(担当者)が各会社担当者に状況を連絡する。
- ②各会社内での火災・事故等など発生時には119番・110番・管理会社に一報し、緊急性・関連があると思われる場合は各会社担当者に直接連絡。
- ③担当者変更及び携帯電話番号変更時には管理員に連絡。

(4) 対応拠点

第1候補場所	第2候補場所	第3候補場所
札幌チャレンジバード事務所	北九条小学校	札幌市役所

(5) 安否確認

グループ	対象者	確認方法
就労G	災害時通所者	・事前に利用者をスタッフごとに振り分けておく ・担当利用者を確認しリーダーに報告する
	在宅勤務者	・事業所での対応が終了してから在宅者の確認を実施する
移行G	災害時通所者	・安否確認をリーダーに報告する
講習G:講習	災害時利用者	・当日利用者講師リストの作成
講習G:放デイ	災害時利用者	・当日利用者講師リストに基づき確認報告する
札チャレ全体	各G集計	・リーダーは理事長に随時報告

(6) 職員の参集基準

職員の参集は、災害の状況と安否確認の状況を踏まえて理事長が決定する。
なお、自宅が被災した場合は、本人および家族の安全確保を最優先として参集する必要はない。

施設外での避難場所・避難方法

	第1避難場所	第2避難場所
避難場所	北九条小学校	北大農場
避難方法	徒歩	徒歩

(7) 重要業務の継続

就労支援：顧客と調整し、在宅勤務で可能な範囲の業務を継続する
移行支援：利用者の状況を確認し、可能な範囲で在宅訓練で業務を継続する
放課後デイ：事務所への安全な通所が可能となった段階で再開する

(8) 職員の管理(ケア)

① 休憩・宿泊場所

休憩場所	宿泊場所
北九条小学校（自治体指定の避難場所）	北九条小学校（自治体指定の避難場所）

② 勤務シフト

【災害時の勤務シフト原則】

帰宅できる職員は、帰宅を優先する。

帰宅できない職員は、最低限の必要業務のみ実施し、避難場所にて待機する。

(10) 復旧対応

① 破損個所の確認

<建物・設備の被害点検シート>

対象		状況 (いずれかに○)	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	エレベーター	利用可能／利用不可	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
(フロア単位) 建物・設備	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
	天井	落下あり／被害なし	
	床面	破損あり／被害なし	
	壁面	破損あり／被害なし	
	照明	破損・落下あり／被害なし	

② 業者連絡先一覧の整備

業者名	連絡先	業務内容
北海道農材工業 (株)	011-716-3291	貸主
日立ビルシステム	0120-71-5200	エレベーター
北苑マンション・ビル管理組合	011-747-6059	ビル管理全般

③ 情報発信 (関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応)

災害の状況、対応内容、復旧など必要な情報は、発信可能な媒体を使用して、随時、発信する。

4. 他施設との連携

(1) 連携体制の構築

① 連携先との協議

災害時の外部連携は、札幌市役所を最優先に、適宜、必要な組織と連携する。

② 地域のネットワーク等の構築・参画

【連携関係のある施設・法人】

施設・法人名	連絡先	連携内容
札幌商工会議所	011-241-6381	会員
北海道中小企業家同友会	011-702-3411	会員

【連携関係のある医療機関（協力医療機関等）】

医療機関名	連絡先	連携内容
かなや内科クリニック	011-669-6000	医療協力

【連携関係のある社協・行政・自治会等】

名称	連絡先	連携内容
札幌市障がい福祉課	011-211-2938	所管行政

5. 地域との連携

(1) 被災時の職員の派遣

被災時の職員派遣は、原則、実施しないが、可能な場合は実施する。

(2) 福祉避難所の運営

① 福祉避難所の指定

福祉避難所の指定は、諸設備が無い為、引き受けられない。

6. 通所系・固有事項

【平時からの対応】

避難訓練を実施する。

キャビネットの転倒対策を実施する。

【災害が予想される場合の対応】

在宅勤務・在宅訓練を優先し、通所での支援を行わない。

【災害発生時の対応】

通所でのサービス提供が困難な場合は、在宅勤務・在宅訓練で対応する。

安全な通所が確保されるまで通所のサービスは提供しない。

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
2024 年 4 月 1 日	第 1 版作成	

【参考資料 添付】

防災ポケットマニュアル